

# 信濃川の河川環境

## 河川水辺の国勢調査

○国土交通省では、全国109水系の河川で「河川水辺の国勢調査」を行い、川にすんでいる生物や、川を訪れる人々の利用の仕方を調査しています。

○毎年順番に「魚類」「底生動物」「植物」「鳥類」「両生類・爬虫類・哺乳類」「陸上昆虫類等」「河川環境基図作成」「河川空間利用実態」の調査を行っています。

令和8年度は「底生動物」の調査を行います。

令和7年度の「陸上昆虫类等調査」で確認した種の一部



ツバメシジミ



チョウトンボ



ヤマトアシナガバチ



コガムシ



オオカマキリ

※「河川環境データベース」で調査結果をご覧ください。

## 信濃川中流域の水環境

○信濃川中流域では、信濃川の豊富な水量を利用した発電が行われており、長野県飯山市に位置する西大滝ダム地点から新潟県十日町市に位置する宮中取水ダムを経て、魚野川合流点までの約63.5kmは、河川流量の少ない減水区間となっていました。

○そのため、平成11年1月に「信濃川中流域水環境改善検討協議会」を設置、平成21年3月に「信濃川中流域の河川環境改善に係る提言」として取りまとめました。

○この提言を踏まえ、平成21年度からモニタリング調査を行っています。

※「信濃川中流域水環境改善検討協議会」の活動状況は、こちらからご覧いただけます。  
[https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa\\_info/mizukan/day.html](https://www.hrr.mlit.go.jp/shinano/shinanogawa_info/mizukan/day.html)

# 長岡地区河川防災ステーション

中越地区初の河川防災ステーションが令和6年6月9日にオープンしました。

位置図



信濃地区



左近町地区



信濃地区 防災ステーション



排水ポンプ車

信濃地区は、国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫等を、長岡市が水防センターと水防倉庫を整備し、左近地区は国土交通省が基盤整備や災害対策車輛庫、緊急復旧資材やヘリポートを整備しました。洪水時の水防活動の支援や水害発生時の緊急復旧の拠点となります。

# 総合学習

学校からの要請に応じて職員を派遣する「出前講座」や、堰などの施設見学を実施しています。信濃川大河津資料館や妙見記念館、しなの川学習館も総合学習で利用することができます。総合学習、環境学習、防災学習など、お気軽に巻末の信濃川河川事務所までお問い合わせください。

